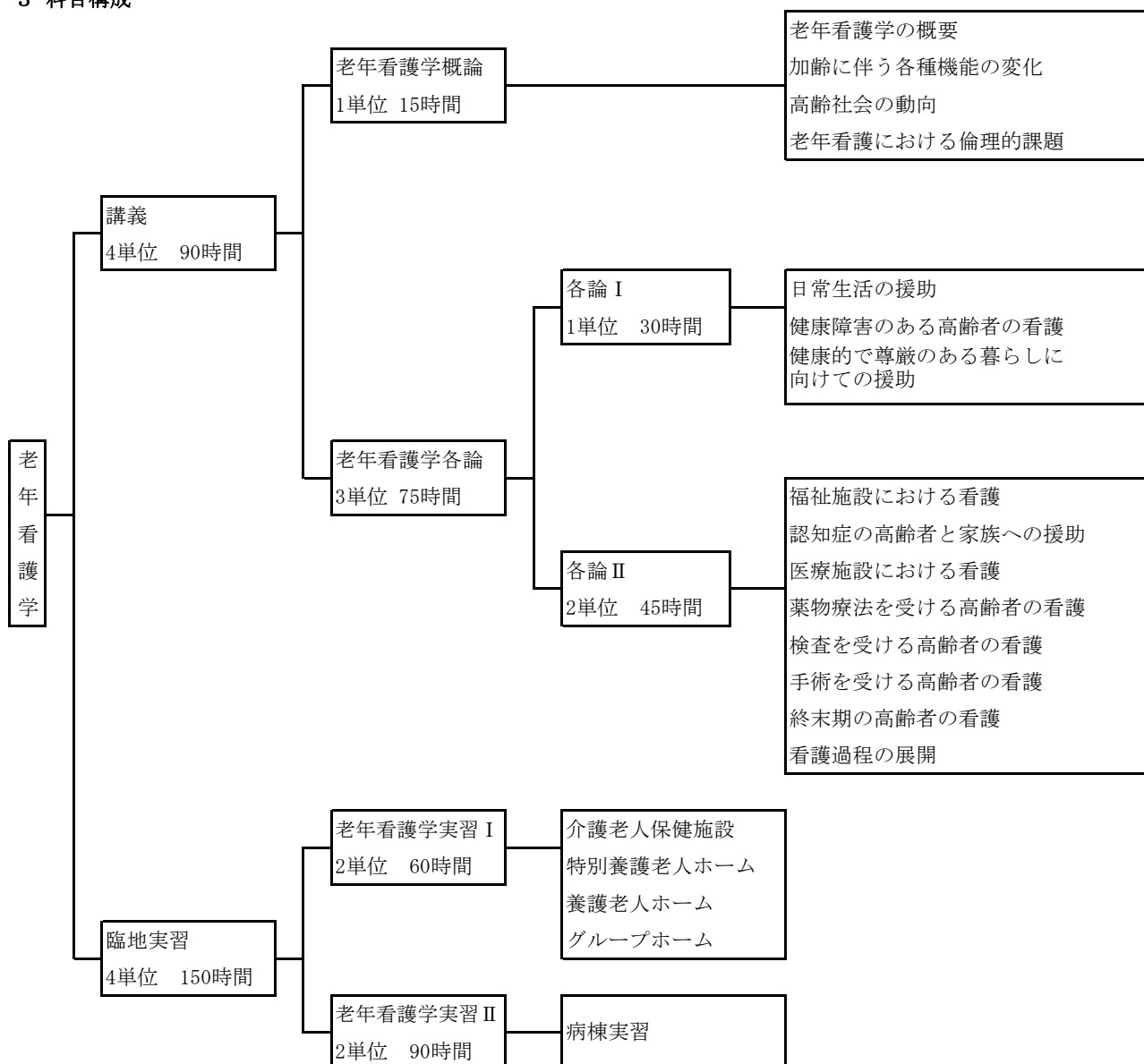


<専門分野>

# 老年看護学

- 1 目的：老年期にある対象を理解するとともに、加齢と疾病との関係を理解した援助の必要性を見だし、看護ができる能力を養う。
- 2 目標：（1）老年期の特徴と高齢社会の動向を知り、老年看護の役割を理解する。  
（2）加齢を伴う高齢者及び健康障害のある高齢者に対する看護ができる能力を養う。  
（3）治療を受ける高齢者の看護が理解でき、健康レベルに応じた援助を理解する。  
（4）老年期にある対象を総合的に理解し、健康の段階に応じた適切な看護ができる能力を身につける。

## 3 科目構成



授業科目	老年看護学概論	担当教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②三輪 陽子	単位数	1	時期	1年次 11月～
				時間数	15		
<p>目的: 老年期の特徴と高齢社会の動向を知り、老年看護の役割を理解する。</p> <p>目標: 1) 加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化を理解する。</p> <p>2) 加齢に伴う高齢者の健康状態を理解する。</p> <p>3) 社会構造の変化、高齢化に伴う医療・保健・福祉対策を理解する。</p> <p>4) 老年看護における倫理的課題を理解する。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	老年看護学の概要	老年看護の意義 老年看護の目指すもの 加齢と老化 老年期の理解		講義	専任教員		
2	加齢に伴う各種機能の変化1	加齢と身体的側面・精神的側面・社会的側面の変化1		講義			
3	加齢に伴う各種機能の変化2	加齢と身体的側面・精神的側面・社会的側面の変化2		講義			
4	加齢に伴う各種機能の変化3	高齢者体験		演習			
5	高齢社会の動向1	人口の高齢化現象 健康指標・健康状態		講義	三輪		
6	高齢社会の動向2	わが国の高齢者医療・保健・福祉対策		講義			
7	老年看護における倫理的課題	高齢者の尊厳と権利擁護 看護職の倫理的責任		講義			
8	試験(1h)						
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト: 高齢者の健康と障害 老年看護学① (メディカ出版) 高齢者看護の実践 老年看護学② (メディカ出版) 国民衛生の動向 (厚生統計協会)					
事前準備や受講要件等							
☆担当教員の実務経験		①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②老人看護専門看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業 科目	老年看護学各論 I	担当 教員	専任教員 ☆① 外部講師 ☆ ②三輪 陽子 ③言語聴覚士 ④摂食・嚥下障害看護認定看護師	単位数	1	時期	1年次 12月～
			時間数	30			
<p>目的: 加齢を伴う高齢者及び健康障害のある高齢者に対する看護ができる能力を養う。</p> <p>目標: 1) 日常生活が加齢によってどのような影響を受けているか理解する。</p> <p>2) 加齢に伴う各種機能の変化に対応した日常生活の援助技術の方法を理解する。</p> <p>3) 健康障害のある高齢者に対する看護の方法を理解する。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	日常生活の援助1	高齢者の健康とは		講義	三輪		
2	日常生活の援助2	日常生活動作能力のアセスメントと援助1		講義			
3	日常生活の援助3	日常生活動作能力のアセスメントと援助2		講義			
4	日常生活の援助4	生活機能障害の程度と残存機能の評価		講義			
5	健康障害のある高齢者の看護1	嚥下障害・失語症・構音障害に対するリハビリテーション		講義	言語聴覚士		
6	健康障害のある高齢者の看護2	嚥下機能障害と要因・アセスメント・看護		講義	摂食・嚥下障害看護認定看護師		
7	健康障害のある高齢者の看護3	日常生活拡大に向けた看護		講義	専任教員		
8	健康障害のある高齢者の看護4	食生活と摂食・栄養状態のアセスメント		講義			
9	健康障害のある高齢者の看護5	排泄障害に対する看護		講義			
10	健康障害のある高齢者の看護6	転倒・転落 熱傷 誤嚥等の予防と急変・救急時の対応		講義			
11	健康障害のある高齢者の看護7	老年期に特徴的な疾患と看護1		講義			
12	健康障害のある高齢者の看護8	老年期に特徴的な疾患と看護2		講義			
13	健康障害のある高齢者の看護9	老年期に特徴的な疾患と看護3		講義			
14	健康的で尊厳ある暮らしに向けての援助	生活リズムを整える援助と活動		演習			
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト: 高齢者の健康と障害 老年看護学① (メディカ出版) 高齢者看護の実践 老年看護学② (メディカ出版) 回数5 リハビリテーション看護 (医学書院)					
事前準備や受講要件等							
☆担当教員の実務経験		①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②老人看護専門看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ③言語聴覚士として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ④摂食・嚥下障害看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業 科目	老年看護学各論Ⅱ	担当 教員	専任教員 ☆① 外部講師 ☆ ②曾川 武秀 ③森山 斉美 ④認知症看護認定看護師 ⑤三輪 陽子	単位数	2	時期	2年次 4月～
				時間数	45		
目的: 治療を受ける高齢者の看護が理解でき、健康レベルに応じた援助が習得できる。							
目標: 1) 福祉施設・医療施設における看護を理解する。 2) 治療、検査時の看護を理解する。 3) 高齢者の終末期ケアの特徴を理解する。 4) 事例をとらして健康障害のある老年看護に必要な知識・技術の統合ができる。							
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	福祉施設における看護1	高齢者福祉 高齢者とのコミュニケーション			講義	曾川	
2	福祉施設における看護2	家族のエンパワーメント 各種在宅サービス			講義		
3	認知症の高齢者と家族への援助1	認知症の種類と評価方法・症状と対応の基本			講義		
4	認知症の高齢者と家族への援助2	認知症高齢者へのかかわり方の基本			講義	森山	
5	認知症の高齢者と家族への援助3	保健福祉施設における看護の実際			講義	認知症看護認定看護師	
6	認知症の高齢者と家族への援助4	認知症高齢者とのコミュニケーション			講義	専任教員	
7	医療施設における看護	外来診療時・入院・退院時の看護			講義	三輪	
8	薬物療法を受ける高齢者の看護	加齢と薬物動態 服薬過誤の予防と看護			講義		
9	検査を受ける高齢者の看護	高齢者の特徴と検査前後の看護			講義		
10	手術を受ける高齢者の看護	高齢者の特徴と手術前後の看護			講義		
11	終末期の高齢者の看護	高齢者の終末期ケアの特徴 見取りの看護			講義		
12	看護過程の展開1	看護過程展開の流れ 事例紹介			講義	専任教員	
13	看護過程の展開2	データベース及び検査データの解釈			講義		
14	看護過程の展開3	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈1			講義		
15	看護過程の展開4	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈2			講義		
16	看護過程の展開5	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈3			講義		
17	看護過程の展開6	問題点の抽出・関連図			講義		
18	看護過程の展開7	全体像の把握			講義		
19	看護過程の展開8	看護計画の立案			講義		
20	看護過程の展開9	日常生活援助技術1			演習		
21	看護過程の展開10	日常生活援助技術2 看護援助の評価			演習		
22	看護過程の展開11	看護過程のまとめ			講義		
23	試験(1h)						
評価方法		回数7～11 筆記試験 40点					
		回数12～22 記録物(看護過程)による評価 60点					
参考文献と資料		テキスト: 高齢者の健康と障害 老年看護学① (メディカ出版) 高齢者看護の実践 老年看護学② (メディカ出版)					
事前準備や受講要件等		看護過程: 自己学習をして授業に臨む。					
☆担当教員の実務経験		①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②特養施設長として施設に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ③介護支援専門員として医療機関、施設に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ④認知症看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ⑤老人看護専門看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					